

ずいそう

## この心地よい浮遊感!!!!

永 田 隆



ダイビングショップを迎えるバスを降りて、南国の陽の光眩しい港をぶらぶらしていると、岸辺には小魚が群れて、アロハシャツなんか着ていると、あたかも自分がミクロネシア人になったように感じる。ついに世界3大ダイビングスポットの一つ、憧れの「パラオ」に来てしまった。

港のそばのショップの前には真っ黒に筋肉の引き締まったインストラクター達が忙しげにボンベを運び込み出港の準備。

真っ白の平べったいボート後部にぎょろ目の小錦を小形にしたようなパラオ人がブルンブルンと船のエンジンをかけている。

私もそろそろダイビングスーツに着替えて、マスク、シュノーケル、足ヒレ、レギュレータ、BC ジャケット、手袋なんかをチェックする。

今日はどんな魚や珊瑚に会えるのかな？ マンタかな、ジンベイザメなんかもいいな。でもそんな簡単に会えるわけないよねなんて、考えてみるだけで幸福感に満ちてくる。体中の関節がめいっぱい弛んで身も心もなんと言う無防備。何でもかんでも吸い込んでしまはうな気分。

一昨日の夕方まで背広姿で仕事の電話を掛け捲って疲れ果てていたのに、体にピッタリのウェットを着るとまるでバットマンに出てくるお腹の出た悪役のペニギンの格好だ。こういうときには、素潜りの天才ジャック・マイヨールがそうしたように思いっきり息を吐いてお腹をへっこましてみる。続かない、やっぱりだめだ、体は普段のままだ。心だけ「非日常」、それでいいんだ今年は、と思ってみる。

珊瑚礁の海に潜ってみたいと思ったのが50歳の誕生日。ダイビングライセンスを取ったのがその年の春、サイパンで。思い立ったら止まらない。初めてのビーチダイビング実習で海に入ると偶然にも横にアオウミガメが泳いでいた。これが感動の始まり、「非日常」の始まりでした。

朝8時、8人のダイバーを乗せたダイビングボートはパラオの首都コロールを出発。今日のポイントは島の東ゲロンインサイド/アウトサイドまで南へ1時間ほどのボートの旅。これがかなりのスピードボート、高さ1m位の波も突っ込んでいく。速い、速い、マラソンの高橋尚子より少し速いくらいかな。波しぶきがシャワーのようで床に座ってしぶきをよけるのだが、ボートの底を波が叩きそれがお尻に響く。どちらかを選ばなきゃならない。

港を出てしばらくは珊瑚礁の波の浸食でできたキノコのような形の島々の間を突っ走る。しばらく進むと、

いよいよ外海。波も一段と荒っぽい。波しぶきもしたたか、でも何故か海しぶきの塩味は少し薄く感じる。パラオの自然も減塩スタイルって、私にっている。何故「味薄す」か解らないけれど。

この高波は丁度日本に向けて出発する、たしか台風15号の卵、熱帯性低気圧がパラオ付近でできたため。この西風は強く今日のダイビングポイントは島の東側ゲロン島付近以外なく、パラオ中のダイビングボートが集合して大混雑の有様。このダイバーの殆どが日本人とアメリカ人のようだ。

心が渴いたら、海が一番だ。以前なら休日は一日眠ってた。なるほど、この惰眠と海行きまでの距離こそが、このところの私の進化というわけなんです。最近のダイバーは誰もが水中デジタルカメラを持っている。潜る前から、潜り終わっても写真の話。確かに水中カメラは安くなり、品質も良くなつたけれど一人くらいカメラを持たない中年ダイバーが、悠々とエントリーの準備する奴が紛れ込んでいてもいいじゃないか。潜る目的がちと違う。これも進化の一部。

いよいよダイビングポイント・ゲロンインサイドに到着し、頭からバックロールでエントリー。なんとか耳抜きをクリアして中性浮力を取るともうこっちのものだ。海の中はホワイトサンドを背景にカラフル珊瑚と小魚の大群。温泉のように暖かい海水がウェットスーツと素肌の間に浸入。これがすごい。数分の間に体が海水に同化して、溶けていく様な、海水と体液の区別が無くなり、自分の体のフレーム感が薄れていく。何か脳と肺がフンワリと空間に浮遊する感覚。これこそが、あの「心地良い浮遊感」。何も考えず、ただ、ただ美味しいエアーを吸い込み、吐き出し、吸い込む、空気に感謝。最近陸上でも、時々深呼吸がしたくなり、空気の美味しさに感謝することがある。これはダイビングを始めてより強く思うようになっている。西原克成氏の著書『内臓が生みだす心』に心の在処は脳より内臓にあるという医学界を震撼とさせる新説がある。私はダイバーとしての感覚からこの説は正しいと思うようになった。どうも人のアイデンティティーは内臓にあるらしい。特に肺と心臓にはその中心的役割を感じる。だからこそ海中で呼吸をするとこの感じにより一層の確信を持つ。

両手両足をだらりとさせ、座禅の様に、呼吸を丹田から肺へ運ぶ様に、うっとりと珊瑚礁の海に「心地良い浮遊感」を味わう。

最高！ やっぱり心が渴いたら海が最高！

——ながた たかし 新キャビラーミツ株式会社  
広域営業部専任部長——